

(別紙6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月26日

【評価実施概要】

事業所番号	0770401768		
法人名	社会福祉法人 養生会		
事業所名	グループホーム かしま		
所在地	福島県いわき市鹿島町下蔵持字里屋13-1 (電話) 0246-58-2288		
評価機関名	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会		
所在地	福島市渡利字七社宮111		
訪問調査日	平成20年1月28日	評価確定日	平成20年3月27日

【情報提供票より】(2007年12月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年2月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		780 円

(4) 利用者の概要(12月30日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1		要介護2	1 名
要介護3	5 名	要介護4	3 名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 88 歳	最低 78 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中山医院、かしま病院、クリニックかしま、かしま蛭田歯科医院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体は病院で、その他に特別養護老人ホーム、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所などのたくさんの事業を展開しており、グループホームの職員も経験者が多く、記録や利用者の対応が充実している。特に、利用者個人の記録に関しては、介護計画に沿った記録ができるよう工夫しており、介護計画が活かされている。また、医療的な部分でも病院と密に関わっているため、適切な対応が受けられている。さらに職員一人一人経験が豊富なことを活かし、常に全体に視野を広げ、利用者のわずかな物音や行動を観察し、対応している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	職員全員で話し合い、日常の記録に介護計画を記載し、介護計画に沿った記録が行えるように改善した。安全面については、砂利の庭を利用者が歩く際には、職員が必ず付き添って行くなどの改善を行った。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員が評価の内容を理解するようミーティングで話し合いを行うとともに、自己評価を取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5)
	運営推進会議では、施設の活動・行事・利用者の体調などの報告を行うとともに、家族代表に意見を聞いている。家族参加の行事の感想なども聞き、今後活かせるようにしている。また、運営推進会議の委員からの情報を基に外出などを行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	年6回程度家族参加の行事を行い、その時に意見などを聞いたり、面会時に積極的に意見などを聞いている。出された意見については職員全員で話し合い、日々の生活の中へ反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	社会福祉法人として地域に溶け込んでいることもあり、週4回地域のボランティアの訪問がある。ボランティアは、お茶会、ゲーム、歌、散髪を行っている。また、運営母体の病院での音楽療法へ参加する際の移動の支援もある。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	社会福祉法人養生会の理念を基本とし、利用者自身が地域住民の一員であることを自覚できるよう、地域との交流が円滑に継続できるように支援していく理念が作り上げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームとしての基本理念を法人の理念を基に管理者と職員でさらにわかりやすく作成し、日々実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	社会福祉法人として地域へ浸透していることもあり、定期的に週4回のボランティアの訪問がある。ボランティアは一緒にお茶会や歌や散髪を行っている。その他、母体の病院での音楽療法へ参加する際の移動の支援もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価については、ミーティングや会議で話し合い職員全員で改善に取り組んだ。また、改善できない前庭の砂利が敷き詰められている部分は、利用者が歩く時は職員が必ず付き添い転倒しないように注意するなど改善へ向けて取り組んでいる。また、評価を通じて職員全員が評価の内容を理解し、確認している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、施設の活動・行事・利用者の体調などの報告を行うとともに、家族代表に意見を聞いている。家族参加の行事の感想なども聞き、今後活かせるようにしている。また、運営推進会議の委員からの情報を基に外出などを行っている。</p>		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回の会報や家族の面会時などに利用者の暮らしぶりなどを報告している。体調不調時は、すぐに電話連絡し、良くなったときも連絡を行っている。小遣いについては、領収証を家族へ渡しているが基本的に現金の管理は行っていない。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年6回程度の家族参加の行事で集まった時や面会時に積極的に意見等を聞くようにしている。出た意見等に関しては、職員全員で話し合いを行い、日々の生活の中へ反映している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営母体の法人は、特別養護老人ホームを初め多くの事業を展開しているため職員の異動はあるが、利用者へ理由を説明したり、新しい職員と慣れている職員を一緒に業務を行い、利用者ができるだけ早く新しい職員と馴染めるよう取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	いわき市主催及び病院主催の研修や勉強会等に参加している。職員が希望する研修にも積極的に参加させている。また、参加できなかった職員に対して、内部研修を行い、全員に伝えている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福島県認知症高齢者グループホーム連絡協議会に所属し、他のグループホームと交流している。また、リーダー研修会などを通じて交流を深め、職員同士の経験を話し合い、お互いのサービスの質の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で、利用者と対面しすわるように心掛けたり、音一つに対しても必ず確認を行っている。また、職員は利用者に縫い物を学んだり、食事を一緒に作るなどして、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、利用者が発する言葉、態度、夜間の行動や家族との会話などから利用者の意向を把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人や家族に意見を聞き、日々の記録を基に職員間で話し合いながら介護計画を作成している。また、日常の記録に介護計画の内容を記載しており、常に介護計画に沿った対応が出来るよう工夫されている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回の業務研修やミーティングで話し合うとともに、記録等を参考に介護計画を作成している。また、気づいたことを家族へ相談している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/	/	/

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診は、家族の協力を得るほか、職員が付き添うなど対応している。また、月2回協力医の往診があり、検査の結果次第では同法人の協力病院に受診している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	リスクの面などからグループホームでは対応出来る事とできない事を、利用者、家族、主治医、職員で話し合い、対応方法などについて方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尿失禁した時などは、他の利用者にわからないようにそっと声掛けをするなどプライバシーに配慮している。個人情報に関しては、鍵をかけて書類を保管するよう配慮している。しかし、日常の記録が、利用者の目に入りやすい場所に置かれている。	○	職員日々の記録も利用者の姿が把握できるようにリビングの一部で行っているのので、記録中の書類が利用者の目に入らないよう配慮してほしい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや散歩に行きたくない時は、無理に参加させず、職員と話しをして過ごすほか、映画を鑑賞するなど希望に添った対応を行っている。また、利用者が行いたいことを職員も一緒に行うようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が焔で作った物を利用し、職員と一緒に食事を作っている。利用者と職員と一緒に食事を食べている。また、利用者一人一人得意なことを把握し、食事の準備や片付けも一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に沿って、週3回以上入浴を行っている。1日2回の方もいる。浴槽や洗い場が広いため、利用者同士誘い合って入浴を楽しむ場合もある。また、就寝前に血行促進のため足浴を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	一人ひとり何が得意なのかを把握し、暖簾や座布団作りなどを行っている。プランターに花を植えるときなどは、多くの利用者が参加できるよう工夫している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	散歩、回転寿司、運営母体法人の病院の売店、孫の結婚式の参加、墓参りなど、身近な場所から遠出まで希望があればその都度行っている。ボランティアや家族も一緒に外出を行うときもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵はかけず、職員全員で目配りを行っている。また、職員は常に利用者の人数の把握も行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	月1回運営母体法人との合同避難訓練とグループホーム独自の避難訓練を行っている。また、午後9時30分以降は火を使わないようにするとともに、一日1回午後に職員が施設周りの点検を行っている。災害時にボランティアに協力していただけるよう、日頃から連携を密にしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状況や性格を把握し楽しく食べやすい利用者同士を同じテーブルに座らせるなど雰囲気作りを行っている。常にポットにお茶やお湯を入れ、自由に飲めるようにしている。食事は、記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	グループホームの居間には天窓があり、明るい雰囲気になっている。また、居間に植物を置き、心地よく過ごせるようになっているため、一日中利用者が居間で過ごしている。トイレは、居室と居間にあり、どこにいても利用できるようになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口には、利用者個人の好みに合わせた利用者手作りの暖簾が飾られ、居室内には写真や永年愛用していたものが置かれているなど、本人の好みや意向に合わせた居室を作っている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(別紙1)を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名	グループホーム かしま
記入担当者名	沖津 由美子

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。